

新型コロナウイルス対策に関する連絡会議 概要

1 日 時 令和2年4月16日(木) 10:30～11:05

2 場 所 道庁別館地下1階 大会議室

3 出席者 別添出席者名簿のとおり

4 内 容

(1) 開会挨拶〔山口課長〕

- ・コロナ感染拡大に伴い、経済や産業への影響は深刻。農業に関しても、農畜産物の消費落ち込みや価格下落、労働力確保などで、様々な影響が及んでいる。
- ・皆様と同じ目線で、農業生産や農産物の価格・流通等への影響について情報共有し、対応を検討していきたい。本日はよろしくお願い。

(2) 議題

① 国の緊急経済対策について〔農政事務所〕

- ・農林水産関係の補正予算の内容については、現在公表されている以上の情報はない。詳細な情報が入り次第情報提供したい。
- ・対策メニューのうち、特に市町村から問い合わせが多いのは「農業労働力確保緊急支援事業」。外国人技能実習生が入ってこないなど人手不足の産地に多様な人材をマッチングするという事業。

② 農業への影響等について〔北農中央会、政策金融公庫、農民連〕

(北農中央会)

- ・輸送に関して、航空便が1割程度が減少。今後、花きや野菜が例年とおりに流通すれば8～9割は運べない状況になるとの試算もある。
- ・輸入機械の納期遅れに加え、欧州産の花苗や受粉に必要な蜂など、海外に依存している資材が入ってこない。
- ・風評被害を防ぐためにも正確な情報の提供が必要。

(政策金融公庫)

- ・2月14日にコロナに関する特別相談窓口を設置。相談件数は4月15日時点で100件を超え、9割が融資の相談。その半数は融資が決定しており、必要な対応は出来ていると考えている。
- ・融資相談の半数は、肉用牛の枝肉・子牛価格の下落に関するもの。直売所や加工品を催事販売するなど6次化して取り組んでいる事業者からの相談が多い。
- ・外国人技能実習生が来ないなど労働力確保に関する不安や、販路を失ったことへの不安の相談も多い。

(農 連)

- ・具体の事例だが、レストランに出荷している園芸農家の話では、2月から注文がなく、出荷先をスーパーに替えているが、他者とも競合しているため、廃棄も発生し、売り上げは前年より80%落ち込んでいる。通年出荷の営農計画が立てられず、例年の半分の播種としているとのこと。
- ・農業の資材は海外への依存が多く、船便が減っていることから、資材が納入されず、春の営農作業へも影響が出始めている。

③ ガイドラインの周知状況について〔黒島課長補佐〕

- ・振興局を通じ、各市町村やJAに周知済み。地域における支援体制の構築を依頼しているところであり、特に畜産・酪農地域では地域での検討が進んでいる状況。
- ・道では、地域の取組を促進するため、こうした先事例を情報提供するなどし、横展開を図っているところ。

(4) 閉会挨拶〔山口課長〕

- ・農政部では、引き続き、こうした連絡会議を定期的を開催するなどして、農業への影響を継続的に把握し、国とも連携を図りながら、必要な対応を進めていくので、よろしくお願い。

